

試 験 報 告 書

財団法人 宮城県公衆衛生協会

平成 21 年 8 月 10 日

食品衛生登録検査機関
財団法人 宮城県公衆衛生協会
理事長 松崎 作夫
〒981-3111 仙台市泉区松森字堤下7番地の1
TEL 022-771-4722
FAX 022-776-8835



ご依頼のありましたアルカリイオン水における抗菌力試験の結果につきましては別紙のと
おりご報告申し上げます。

《アルカリイオン水における抗菌力試験》

1. 供試品：アルカリイオン水 (pH 12.5)
2. 供試菌株：サルモネラ：*Salmonella arizonae* ATCC13314
3. n 数：n=3
4. 試験方法

(1) 供試菌液の調製

供試菌株を普通寒天培地に接種し 35±1℃、24±2 時間で 2 回以上継代培養した。さらに供試菌を NB 培地で 35±1℃、24±2 時間培養後、滅菌生理食塩水にて 10 倍段階希釈し、菌液が 10³~10⁴/ml となるように調製したものを供試菌液とした。

(2) 試験操作

供試品 10ml に供試菌液 100 μl を添加し、20±1℃で 30 秒、5 分、15 分間作用後直ちにそれぞれ 1ml をメンブランフィルター(孔径 0.45 μm)でろ過し、滅菌精製水でアルカリ性を示さなくなるまで洗浄した。ろ過後のフィルターを普通寒天培地に密着させ、35±1℃、2 日間培養し、培養後の生菌数を測定し供試品 1ml あたりの菌数を求めた。対照として 150ppm 次亜塩素酸ナトリウムを用いて同様の操作を行った。

5. 試験結果

Salmonella arizonae ATCC13314

単位：cfu/ml

験区分	作用時間 初発菌数	30 秒後		5 分後		15 分後	
		n	平均	n	平均	n	平均
アルカリイオン水 pH 12.5	7.6×10	0	0	0	0	0	0
		0		0			
		0		0			
次亜塩素酸 ナトリウム 150ppm	7.6×10	0	0	0	0	0	0
		0		0			
		0		0			